

加古川商工会議所 70年のあゆみ

加古川商工会議所は皆様方のご協力のおかげをもちまして、本年6月1日に創立70周年を迎えました。年表で加古川商工会議所の70年のあゆみを振り返ります。

- 昭和27年 1952年 加古川商工会議所創立総会を加古川市公会堂で開催。
- 3月 初代会頭 大橋 實次 を選任。
- 6月 事務所を加古川町篠原町34の8（日本運送㈱の2階）に開設し業務を開始。
初年度予算額 231万円（9ヶ月分）
- 8月 第1回「加古川 川まつり」を開催。
- 昭和28年 1953年 会員数 491名
- 6月 創立2周年記念事業で「加古川地域の商工名鑑」を刊行し、全国会議所へ配布。
- 昭和30年 1955年 第1回優良従業員表彰式を挙げる。
加古川大橋の補強と幅員拡張について要望書を建設大臣に提出。
- 9月 加古川市議会都市計画委員会と当所開発対策委員会合同懇談会を開催。
- 11月 三木運輸大臣、十河国鉄総裁が来県の際に、国鉄西明石、加古川間の電化促進について陳情。
- 昭和31年 1956年 加古川市立総合卸売市場設置に関する要望書を市に提出。
- 3月 当所観光部会を発展的に解散し加古川観光協会を設立。
- 昭和32年 1957年 創立5周年記念式典を挙げる。
- 6月 1958年 国鉄山陽本線の明石〜姫路間が電化開通し、開通記念事業を行う。
- 昭和33年 1958年 高砂、加古川両会議所の合同議員総会を開催。
- 10月 当所と、稲美町、播磨町、志方町の各商工会の4者が大同団結し、各商工会は発展的解散をし、各町に当所の支所を設置。
- 昭和36年 1961年 阪神・播磨を結ぶ幹線道路（加古川バイパス）の整備促進についての要望を建設大臣宛に行う。
- 昭和37年 1962年 労働保険事務組合の認可を受け事務代行を開始。
- 6月 創立10周年記念式典を加古川公会堂で挙げる。
- 昭和39年 1964年 広域商業診断を実施し、その報告書を関係団体に配布。
- 昭和40年 1965年 台風23号による被害に対し、早急な復興対策を知事に要望。
- 昭和41年 1966年 商工会館建設促進についての陳情を市長並びに市議会議長宛に行う。
- 7月 駅前ネオンアーチ改修に関する要望書を市長宛に提出。
- 昭和42年 1967年 播磨国道（明石ー加古川ー姫路バイパス）の早期建設の要望書を県議会に提出。
- 6月 創立15周年記念式典を挙げる。
- 昭和43年 1968年 会館建設特別委員会が新発足。
- 2月 稲美町支所が分離独立し、稲美町商工会となる。
- 3月 播磨国道の早期建設促進について各関係省庁に対し陳情書を提出。
- 昭和44年 1969年 国鉄三木線、北条線、鍛冶屋線の廃止反対、及び増強の要望書を知事宛に提出。
- 12月 加古川地区都市改造事業に関して日本毛織に対し、ニッケランド約7000坪を一括して市に譲渡されるよう要望書を提出。
- 昭和45年 1970年 播磨町支所が分離独立し、稲美町商工会となる。
- 1月 加古川駅前街地改造事業実施にあたり、市長並びに市議会議長に市営駐車場の要望書を提出。
- 11月 議員改選にともない
第2代会頭 長谷川 末吉 を選任。
- 昭和46年 1971年 加古川駅前再開発事業促進についての陳情書を、市長並びに市議会議長に提出。
- 4月 日本商工会議所より、商業近代化地域計画策定（モデル都市）の指定を受ける。
- 5月 雇用対策協議会が組織され、会長に長谷川会頭が就任。
- 6月 播磨国道（加古川バイパス）の標識明示についての陳情書を建設省兵庫国道事務所長宛に提出。
- 昭和47年 1972年 都市改造事業促進についての請願書を市長並びに市議会議長宛に提出。
- 7月 加古川産業会館竣工。会議所事務所を新会館7階に移転。創立20周年記念式典を挙げる。
- 昭和49年 1974年 志方町支所が分離独立し、志方町商工会となる。
- 昭和50年 1975年 マリンガ使節団が公式来訪。
- 昭和51年 1976年 志方町商工会館竣工式典挙行される。

- 9月 台風17号による被害から中小企業災害復旧資金特別融資制度の説明会を開催し対応する。
- 昭和52年 1977年 会館建設準備特別委員会を開催し、今後の運営について検討を行う。
- 9月 東播地域における南北道路建設促進準備会開かれる。
- 11月 加古川駅前再開発プロジェクトチーム定例会議開かれる。
- 昭和53年 1978年 会議所会館建設について市有地の一部貸与について陳情書を市長宛に提出。
- 10月 加古川駅舎駅前特別委員会と加古川駅舎駅前開発についての懇談会を開催。
1979年 第1回納涼ショーボートを実施。
- 昭和54年 7月 議員改選にともない
第3代会頭 滝川 松男 を選任。
- 昭和55年 1980年 加古川市国鉄高架事業促進期成同盟設立総会を当所で開催。
- 3月 加古川市公害防止技術研究会を発展的に解消し、加古川市環境保全研究会を結成。
- 7月 ニチイ加古川店出店に際し、その検討・調整を目的に総開発委員会内にニチイ開発分科会を設置。
1981年 焼失した加古川廉売市場協同組合を中小企業高度化資金の融資事業による再建実現のため、県知事宛に意見書を提出。
- 10月 加古川卸団地が完成。竣工式典挙行される。
- 昭和57年 1982年 加古川廉売市場新店舗の竣工式典挙行される。
- 3月 創立30周年記念事業「ヨーロッパ商事情視察研修旅行」を行う。
- 9月 創立30周年記念式典並びに記念パーティーを挙げる。
- 10月 加古川商工開発株式会社が発足。設立総会が開かれる。
- 昭和59年 1984年 東播磨経済交流会館建設に関する陳情書を県知事宛に提出。
- 2月 ダイエーを核店舗にニッケパークタウンがオープン。
常住寺跡（加古川町溝之口五二七）を会館の建設予定地に決定。
- 昭和60年 1985年 経営安定特別相談室を設置。
- 昭和61年 1986年 加古川商工会議所新会館完成。
- 昭和62年 1987年 「かがわ食品フェア」を開催。
- 10月 「かがわ食品フェア」を開催。
- 昭和63年 1988年 イトーヨーカドーを核に「グリーンプラザべふ」がオープン。
- 12月 金融証券業部会 不動産業分科会が第1回例会を開催（昭和64年） 1989年 加古川異業種交流会を設置。
カピル21が、加古川そごうを核にオープン。
9月 カピル21が、加古川そごうを核にオープン。
10月 婦人部（現女性会）設立。
12月 ベルデモール加古川（加古川駅前通商店街）オープン。
平成2年 1990年 マリンガ親善使節団が来所、経済交流提携を調印。
平成3年 1991年 青年部を設置。
11月 青年部を設立。
平成4年 1992年 異業種交流会が「第1回融合化フェア」を開催。
平成7年 1995年 青年部が被災地に炊き出しを開始。
3月 義援金を東播磨県民局に寄託（1442万5116円）
4月 婦人部がチャリティコンサートを開催し、被災地へ寄託。367万7500円
11月 婦人部が第1回チャリティ靴下まつりを開催。
平成8年 1996年 BANIBANテレビ開局
平成9年 1997年 志方町商工会と合併
平成12年 2000年 滝川会頭、逝去にともない
第4代会頭 大庫 典雄 を選任。
平成13年 2001年 ヤマトヤシキ加古川店がオープン。
平成14年 2002年 50周年フレッシュアップ運動（会員訪問）を実施。
4月 加古川商工会議所50周年記念式典・祝賀会を挙げる。
11月 山陽本線西明石綱干駅間の複々線化の推進及び利便性の向上に関する要望書を西日本旅客鉄道に提出。
平成15年 2003年 国道2号線の対面通行についての要望を提出。
8月 青年部が全国商工会議所青年部連合会第21回近畿ブロック大会加古川大会を挙げる。第1回加古川築市を開催。

- 平成16年 2004年 議員改選にともない
第5代会頭 西川 隆雄 を選任。
14部会を7部会に再編。
- 平成17年 2005年 大規模小売店舗等の立地調査に関する条例（仮称）の基本的な考え方に係る意見書を兵庫県知事に提出。
国道2号等整備促進協議会が発足。
- 平成18年 2006年 加古川市及び兵庫大学との連携協定を締結。
- 平成19年 2007年 国道2号等早期整備について兵庫県知事に陳情。
- 10月 播磨臨海地域道路網について財務省、国土交通省・自民党本部・公明党・民主党へ陳情。
- 平成21年 2009年 かがわ活性化プロジェクト委員会チームかけはし発足。
2010年 議員改選にともない
第6代会頭 長谷川 吉弘 を選任。
- 平成23年 2011年 若者就職応援事業（高校生の企業見学）を開始。
- 平成24年 2012年 60周年記念事業「会員訪問」を開始。
マリンガ市親善使節団加古川市表敬訪問並びに歓迎夕食会。
11月 創立60周年記念式典・会員大交流会を実施。
- 平成25年 2013年 播磨臨海地域道路網建設促進協議会として自民党・国土交通省に、3月には財務省に播磨臨海地域道路の早期実現に関する要望を提出。
- 平成26年 2014年 NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」放送に伴い、「商工かがわ」の表紙に官兵衛の妻で志方町出身「てる」をモデルとした「てるひめちゃん」が登場。
2015年 ウェルネージかがわ竣工
7月 建設業部会が「地域創生、加古川イキイキふると創り」のためのワークショップを開催。
平成28年 2016年 加古川中央市民病院が開院
- 11月 議員改選にともない
第7代会頭 金谷 和明 を選任。
青年部が日本商工会議所青年部第34回全国会長研修会「かがわ会議」を開催。
- 12月 加古川市国道2号等整備促進協議会が兵庫県知事に加古川市国道2号等の早期整備は地域の願い」を提出。
平成29年 2017年 青年部が創立25周年記念式典・祝賀会を開催。
10月 創立65周年記念「ベトナム周遊視察研修旅行」を実施。
10月 日伯経済友好使節団・マリンガ市友好訪問団表敬訪問。
平成30年 2018年 「加古川スイーツMAP・2018Kakogawa Sweets」を作成 発行。
7月 プラジル日本人移民110周年記念訪問を実施。式典・事業に参加。
10月 加古川市及び但陽信用金庫との包括連携に関する協定を締結。
- 令和元年（平成31年） 2019年 播磨臨海地域道路整備促進大会を加古川で開催。
5月 加古川商工開発㈱に加古川プラザホテル全室バスルーム改修について要望書を提出。
10月 女性会が創立30周年記念式典・祝賀会を開催。
令和2年 2020年 「加古川焼肉マップ」を作成、発行。
3月 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、兵庫県、福岡県に「新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言」が発出され、のち16日に全国が対象となる。
5月 工場立地法による緑地面積率緩和に関する要望書を加古川市長に、請願書を加古川市議会に提出し、令和3年3月の市議会で緩和条例案が可決され、4月1日付で施行。
11月 女性会「第24回靴下まつり」が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で通常の対面販売形式を中止し、初の抽選プレゼント形式での実施。
令和3年 2021年 加古川市が所有する株式の自社株買い等により加古川商工開発㈱を民営化、当所が筆頭株主となる。
7月 東京オリンピック・パラリンピックが1年遅れで開催。
11月 青年部「第18回商工祭加古川築市」・女性会「第25回チャリティ靴下まつり」を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため日岡山公園にて開催。
令和4年 2022年 青年部が創立30周年記念式典を開催。